

令和3年度 消防本部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
消防長 田淵 光彦	●使命 私たち消防本部は、「市民に安心・安全を届ける窓口」の実現を消防施策として積極的かつ強力に推進し、生まれてきてよかった、住んでよかったと思える都市づくりをめざします。 ●基本方針 ①消防団組織の充実・士気の高揚・資機材の整備に努めます。 ②消防施設の充実を図ります。 ③大規模災害等に対応できる消防活動体制の充実を図ります。 ④質の高い救急サービスを提供できるように、人材育成や資機材の整備に努めます。 ⑤事業所の防火・防災管理体制の充実に努めます。 ⑥自主防災体制の充実に努めます。 ⑦災害現場対応の迅速化、確実化を進めるため、通信連絡体制の整備に努めます。	所管課	総務課 警防課 予防課 通信指令室 消防署		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			79人	人	79人
		一般会計	685,869 千円		
		特別会計	千円		
		計	685,869 千円		
		(うち人件費)	(515,107 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 消防団の対応能力及び技術の向上 【総務課】	年々自然災害が頻発し消防団の必要性が急速に高まっている現状があります。その期待に応えるべく想定される災害に対応した訓練を実施し、またそこで使用する資機材の取扱い訓練を重点的にを行います。	各分団で自然災害時に使用する資機材の取扱い訓練を随時実施します。 9月に県との総合防災訓練を実施します。	7月にコロナ感染対策を行い、町別で実施時間帯をずらし夏季訓練を実施しました。 9月に予定していました総合防災訓練は緊急事態宣言発令に伴い中止となりました。	随時各分団では放水訓練・資機材取扱い訓練を実施しました。 県との総合防災訓練は中止となりました。	コロナ感染対策を行い年間通して訓練を実施しました。 県との総合防災訓練は中止となりました。

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	消防施設等の整備 【総務課】	邑久東分団第5部の機能低下した消防車両の更新を図ります。 庁舎耐震化に伴い長船分駐所の新築移転を行います。	令和3年度末までに整備します。 新築移転に伴い庁舎備品整備・デジタル無線移転・出動エリア変更を行い、10月中旬には新長船分駐所の運用を開始します。	8月に入札・契約が完了、12月には中間検査を行う予定です。 9月上旬に庁舎備品整備・デジタル無線移転・出動エリア変更の契約が完了しました。	12月14日に中間検査を終了しました。3月に納車予定です。 10月上旬に備品納品・デジタル無線移転・出動エリア変更が完了し、10月7日に開所式を行いました。	3月24日に納車3月27日に分団に引き渡し完了しました。 10月7日より運用開始しました。
3	大規模災害を想定した他機関との合同訓練の強化及び 集団災害対応能力の向上 【警防課・署】	コロナ感染対策を踏まえた大規模災害等対応訓練を他機関と連携し実施します。 大規模災害等対応訓練を連携し実施します。 集団災害における対応能力の向上を図ります。	他の消防機関との合同訓練 消防訓練 年3回以上 救助訓練 年3回以上 救急訓練 年3回以上 消防・警察・海上保安庁との合同訓練を年1回実施します。 集団災害対応のシミュレーション訓練を月1回以上実施します。	他の消防機関等の訓練企画・立案はできていましたが、緊急事態宣言により未実施となっております。 9月実施予定でしたが、上記の理由により未実施となりました。8月には、海上保安部職員による講習を開催しました。 署員を中心に、当務中に実施しています。	コロナ対策に関する合同訓練はできていませんが、消防・救助・救急訓練は目標が達成できました。 コロナまん延に伴い、合同訓練は、来年度に延期になりました。 集団災害対応については、10人以下の傷病者が発生したとの想定で実施し、実施後、フィードバックにより共通認識ができています。	同左 同左 集団災害についての座学を実施した後、実働訓練を実施し、署員全体の対応能力が向上しました。
		救急車両購入整備及び各種教育内容の共通認識の徹底 【警防課・署】	新高規格救急自動車の整備を行います。	令和3年中に整備を行います。	11月中旬に中間検査、令和4年1月に納車し運用予定です。	救急車整備に関しては、令和3年12月22日から牛窓分駐所で運用を開始しました。
						運用開始後も、スムーズに資器材等を活用し救急活動が実施できています。

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
		指導救命士による教育訓練を中心とし、各種研修派遣者における署内研修会の実施を行ない、最新の現場対応における共通認識の徹底を図ります。	署内研修 年1回以上 酸欠・硫化水素技能講習 ICLS講習 年1回以上 MCLS講習 年1回以上 JPTEC講習 年1回以上 その他（救急シンポジウム等） 年1回以上	指導救命士等により、当務中に研修で学んだ内容を、項目ごとにフィードバックしています。	ICLS講習・MCLS講習・JPTEC講習は中止。署内で救命士が中心となって指導しています。	研修会については、中止になりましたが、署内の救急事例等について検討し、救急活動の共通認識が図れました。
5	事業所に対し、防火・防災管理について指導強化を行います。 【予防課】	対象物の管理者が年2回行う自衛消防訓練に参加し、防火指導を行います。 防火対象物、危険物施設において合同訓練を実施します。 小規模な飲食店等に対し立入検査を行い、防火指導を行います。	自衛消防訓練実施時、消防職員の派遣依頼があったものに訓練参加し、防火指導を行います。 前年度中止となった危険物施設、防火対象物での合同訓練を実施します。 防火管理者のいない115件の小規模飲食店等についても立入検査を行い、防火指導を行います。	派遣依頼があったものには全て対応しました。 緊急事態宣言等により訓練が中止になった事業所がありました。 目標達成に向け引き続き継続します。	順調に依頼対応しています。 火災予防運動期間中、事業所との合同訓練を実施しテレビ他のメディアで取り上げられました。 目標の8割を達成している状況です。	依頼のあった 23 事業所全て訓練指導を実施しました。 コロナ禍で訓練が中止になった場合や、感染に注意し実施出来た合同訓練がありました。 休業1件を除き、114件の立入検査を実施しました。
6	幼年消防クラブ育成を行うとともに防火・防災啓発を行います。 【予防課】	コミュニティ助成事業を活用して、防火・防災啓発活動に使用する鼓笛隊セットを提供し幼年消防クラブの育成を支援します。	幼年消防クラブによる防火・防災啓発活動を実施する場を設けます。	助成事業により鼓笛セットを予定どおり提供しました。 引き続き事業の広報活動を実施します。	幼年消防クラブへコミュニティ助成を行い、広報紙に活動状況を掲載しました。	コミュニティ助成事業を完結しました。

重点項目		内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
7	指令情報の充実化 【通信指令室】	各課の持つ建物や水利情報等を収集できるよう連絡体制を強化し、場所特定の精度を向上させるように努めます。	全防火水槽の貯水容量を指令地図に記載します。 開発協議申請にかかる資料提供体制を構築し目標物の把握を行います。 予防課と連携し、新規防火対象物等の情報を随時更新し最新の状態にします。	既存の防火水槽 1,120 件については 全件地図記載完了しました。 開発情報、新規防火対象物については 149 件の入力ができ、情報共有体制ができました。	開発情報、新規防火対象物については 160 件の入力ができ、有効なデータ収集につながっています。	水利、防火対象物を 合計 294 件追加・更新でき、場所特定の迅速化に繋げることができました。
		緊急通報時における指令室員の情報収集技術の向上を図ります。	今年度から新設される消防学校の通信科へ入校させ、指令室員へ教育内容の伝達を行い知識共有を行います。	9 月 15 日現在、入校申請中ですが、予定者に本部の課題や問題点を取りまとめ有効な意見交換ができるようにしています。	12 月に 2 名を教育入校させました。1 月中に指令に携わる職員全員に伝達講習を実施しました。	指令室担当員への研修を行ったことで、緊急通報受信時の原則的な流れ、受信者の思い込み防止に関する技術を身につけることができました。